

山あいの地区で取り組む地域づくり

糸魚川市南西部の中山間地に位置する10集落によって構成されている小滝（こたき）地区は、急激な少子高齢化の進行によって、自治活動や地区行事の担い手不足が喫緊の課題となっています。

これからの小滝地区を維持・活性化するにはどうすればよいのか、現状と課題を検証し、課題への対応策とその実行方法を明確にするため、当協議会を設立し、地域づくりを進めています。

資源の宝庫～その宝を活かし、残すために～

自然豊かな小滝地区には温泉や山菜、ヒスイや薬石、真柏など貴重な地域資源・観光資源が多くあり、平成25年度に実施し世帯回収率が98%を超えた住民アンケートでも、これらは「誇れる地域の宝」として挙げられました。

こうした資源も活用しながら地域を残すために、移住体験ツアーの実施や移住希望者のサポートを行う移住者受入れ部会、山菜を活用し商品開発や販売を行う山菜活用部会、観光施設の運営管理や新メニューの開発を行う観光連携活性化部会、獣害対策や空き家の管理を行う生活環境確保部会の4部会を組織し、活動しています。

連携プレーでオール小滝！

小滝地区では将来像として、小滝地区の住民・団体等が連携し、一体となって課題の解決に向け活動している姿「連携プレーでオール小滝！」を掲げています。この将来像の実現に向けて、「みんなに知らせる・みんながその気になる・新しいルールづくり」の3点を意識して活動を展開しています。

当地区は高齢化・過疎化により限界集落に近い状況かも知れません。地域づくり協議会の取り組みも牛歩の如くではありますが、高齢になっても住みよい地域、共に助け合う地域、明るく元気な地域を目指し、その中で何が出来るかを、子どもから大人までみんなが一体となって模索し、頑張っているところです。

ふるさと納税を通して、小滝地区の地域づくりをぜひご支援ください。

